



連合徳島

vol. 268

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和久

当面の日程

- ◎ 4月8日(金) 2016中小春闘勝利 未解決組合支援促進徳島総決起集会(ふれあい健康館)
- ◎ 5月1日(日) 第87回徳島中央メーデー(御成婚広場) 大西 聡決起集会in徳島(JR徳島駅前)



写真左から 経営4団体、徳島労働局、徳島県要請

2016春闘 政策・制度要求

県内3団体に要請書提出

連合徳島と春闘県共闘会議は、労働局 徳島県ならびに経営4団体に対して、2016春闘に関する政策・制度要求の要請書を出し、要請行動(交渉)を行った。働き方改革、雇用対策や非正規雇用の処遇改善、クラシソコアゲ応援団としての連合の取り組みや、「底上げ春闘」の必要性等を訴えた。

連合徳島は、3月1日に労働局、3月4日に徳島県、3月10日に経営4団体に対する要請行動を行った。参加者は、執行部と徳島県中小労働対策本部、女性委員会の代表。労働局への要請行動では、雇用の安定と公正な労働条件の確保、労働災害防止と労働安全衛生の指導強化、職場における男女平等とワークライフバランス社会の実現、労働環境・条件の改善を軸に要請。

徳島県に対しては、地域活性化への産業・雇用政策の一体的推進、雇用の安定と公正な労働条件の確保、女性活躍の推進とワークライフバランス社会の早期実現、全世代支援型社会保障制度のさらなる推進、公契約基本法・公契約条例の制定による公契約の適正化の推進、県内労働福祉関連団体とのさらなる連携強化を軸に要請しそれぞれ意見交換を行った。経営団体に対する要請行動で森本議長は「2016春季生活闘争とクラシソコアゲ応援団! 2016 R ENGO キャンペーン」の基本的考え方の一つ目は、「底上げ・底支え」格差是正で経済の好循環! としている。これまでのような経済成長本位のトリクルダウン的な発想では経済の好循環は成し得ないことはすでに明白である。働く者全体の「底上げ・底支え」格差是正! によって経済の好循環づくりをめざす必要がある。これまでの春季生活闘争のメカニズムを十分に生かしつつ、従来の「大手追従・大手準拠」などの構造を乗り越える取り組みを行い、サプライチェーン全体で生み出した付加価値を適正に分配する。公正取引の実現に労使で取り組んでいかなければならない。また、地域の活性化をめざして地域フォーラムの開催についてご賛同いただきたい。などあいさつ。その後の意見交換では双方多岐に亘る考え方を提起し予定時間を超過した。

今春闘4つのキーワード:

- * 3年続けて賃上げの『持続性』
- * 消費傾向の高い『月例賃金』にこだわる
- * 格差是正のための『底上げ』
- * 賃上げの輪を広げる『広がり』

2016春闘勝利 徳島県総決起集会

クラシソコアゲ応援団! 2016 R ENGO キャンペーンを全国展開

「底上げ春闘」勝利に向けデモ行進



徳島市内中心部デモ行進



各構成組織から約800人が結集

冒頭、主催者を代表し、森本議長は「2016春闘のキーワード(持続性・月例賃金・広がり・底上げ)に触れ、2年続いた賃上げがストップすることになれば、デフレ脱却が一気に遠のく。働く者にとって持続的に賃金が上っていくという確信が持てるようになるためには一時金ではなく月例賃金の引き上げが重要。賃上げを一部大手企業にとどめず、付加価値の適正配分を通じ中小零細や労働組合のない企業への広がりを目指す。付加価値の適正配分による底上げこそが最大の成長戦略である。アベノミクスが喧伝している『トリクルダウン』は起こらない。」とあいさつ。あわせて、労働者保護ルール改悪阻止に向けた取り組みとして、第24回参議院議員選挙での比例代表12名と「大西聡」氏の必勝と、地元行政との連携強化の重要性から徳島市長選挙での「原秀樹」氏の支援を訴えた。続いて、島共闘会議事務局長からは、2016春季生活闘争方針に基づき、ヤマ場を迎える大手の交渉を支援し、中小・地場の闘争に繋げていくため、今後の取り組みを確認し意思統一を図るとする方針が提起された。その後、各部会から決意表明があり、小畑連合徳島青年委員会委員長が、総決起集会アピールを提起し全体の拍手で採択された。最後に、森本共闘会議議長の団結がらばらうで集会を閉じた。集会后、徳島市内中心部のデモ行進を行い、2016春闘勝利に向け氣勢を上げた。

連合徳島の活動をアピール

2016 syuntoふれあいファミリーデー

連合徳島、徳島県春闘共闘会議、県民と働く者のフェスタ実行委員会は3月13日板野町のあすたむらんど徳島で、2016春闘ふれあいファミリーデーを開催した。



き、肌寒い・曇り空の中、連合徳島各構成組織の組合員や家族など3921人(あすたむらんど発表)が参加した。開会にあたり、連合徳島森本会長から「働く者全体の『底上げ・底支え』格差是正」によって経済の好循環づくりをめざす必要がある。そして、これまでの春季生活闘争のメカニズムを十分に生かしつつ、従来の『大手追従・大手準拠』などの構造を乗り越える取り組みを行いサプライチェーン全体で生み出した付加価値を適正に分配する。公正取引の実現に労使で取り組んでいかなければならない。また、本日は、仕事の事は忘れ、家族で楽しんでもらいたい」とあいさつ。続いて、鎌谷副会長と連合キャラクター・ユニオニオン(島事務局長)が、連合徳島の取り組み等々を参加者に説明した。続いて東日本震災復興支援大抽選会(東北3県の物産品を賞品)を午前・午後の2回抽選した。その後、プリンセス・プリキュアショーに移り子ども達の歓声が響き渡った。なお、会場で「クラシソコアゲ応援団!」のアンケート調査、労働・生活相談ブースも設置し、女性委員会・青年委員会は綿菓子やドリンクも販売し、多くの参加者で賑わった。



東京からきた連合キャラクター・ユニオニオンは人気

かわいたかのり えさき たかし



【UAゼンセン】元1期(52歳)

職場が原点！
実現します安心社会！
 * かけがえのない子どもたちに、明るい未来をつくります。
 * わたしたち勤労者が報われる社会をつくります。
 * いつも安心で公正な社会をつくります。

【自治労】現1期(59歳)



【自治労】現1期(59歳)

「人の明日を咲かせよう」
「さき咲きえさき」
 * 地域密着の公共サービスを
 * 持続可能な格差のない社会を
 * 全世代対応の社会保障制度を
 * 男女がともに輝く社会を
 * 地域分散型エネルギー社会を
 * 平和な国際社会の実現を

はまぐち 誠



【自動車総連】新人(50歳)

「暮らし安心」「働く安定」「産業活性化」を相互にバランスを取りながら実現することで、組合員が「期待・希望」をもてる明るい未来につなげます。

矢田 わか子



【電機連合】新人(50歳)

あなたと動けば、未来は変わる。
 「働く・暮らす・育てる」の3本を柱に、みんなが安心して暮らせる政策を実現します。
3つの「やります!」
 1. 働く「誰もがイキイキと働ける社会」づくりに挑戦します!
 2. 暮らす「将来にわたって暮らしを支える社会」を実現します!
 3. 育てる「子どもを健やかに育てられる社会」をつくります!

徳島・高知選挙区 立候補予定者

おおにし そう 大西 聡



弁護士 新人(52歳)
SO GOOD!
国民が主役の政治を取り戻す!

【第24回参議院通常選挙 構成組織別立候補予定者】 私たち、働く者の代表者として、現場の声を国政に届けます!!



藤川 しんいち 【JAM】新人(52歳)



とどろき 利治 【基幹労連】元1期(56歳)



なたにや 正義 【日教組】現2期(58歳)



なんば 奨二 【J P労組】現1期(56歳)



石橋 みちひろ 【情報労連】現1期(50歳)



小林 正夫 【電力総連】現2期(68歳)



もりや たかし 【私鉄総連】新人(48歳)



たしろ かおる 【JR総連】現1期(56歳)

狭山再審闘争を柱に

部落問題・人権問題などの活動推進確認

第37回部落解放徳島地方共闘会議総会が、3月24日、労働福祉会館別館5階にて開催され、各構成組織・団体から代議員60人が参加した。

総会は、富永副議長（平和センター）の開会あいさつで始まり、議長に矢藤代議員（電機連合）を選出後、共闘会議を代表して森本議長（連合徳島会長）は「狭山事件を部落差別による人権問題と捉え、闘いを続けてきた。これまで27回にわたる三者協議が開かれて、証拠開示が行われたが、証

の拍手で承認された。最後に、吉野副議長（連合徳島副会長）の開会あいさつ、森本議長の団結ガンパロ一三唱で総会を閉じた。



差別のない社会づくりに向け団結ガンパロー

国際女性デー

男女お互いに支え合える社会へ

女性活躍推進法を学習

3月5日13時30分よりJR徳島駅前にて約50人がピラ配りをし、街頭からは①3・8国際女性デー実行委員長下則子（連合徳島女性委員長）②部落解放同盟書記長南塚山加代③高井美徳徳島県議会議員④ストップDVサポートの会代表東條恭子⑤徳島県女性海外派遣交流会事務局長の大寺禮子がそれぞれリレートークを行った。

徳島県においては20年前より実行委員会形式をとり、30以上の女性団体より賛同をいただき、実行委員長は持ち回りで開催をしている。ピラ配り・リレートークの後、シユプレヒコールをしなが

らアピールウォークをした。続いて14時30分から阿波観光ホテル5階にて約100人が参集し、3・8国際女性デー徳島県記念集会を開催した。



「女性活躍推進法」を説明する井上男女平等総合局長

青年委員会

春闘をテーマに学習

は任意項目になっており、安倍首相は同一価値労働同一賃金と言っているが、男女賃金格差があるのに同一価値労働同一賃金は成立しない。幅広く分析する必要がある。そして春闘交渉としてアクションリーフも活用していただき職場の点検活動強化をお願いしたい。職場での皆さんの活動が労働側委員の強い後ろ盾となり法律を動かすことにもつながるのです」と締めくくった。



アピールウォークに40人が参加

連合徳島青年委員会は、2015年12月12日に開いた第1回幹事会で、各構成組織青年層が集う場の提供と学習の場を確保するため毎年3月と9月に、学習研修会を行うことを決定。そして本年度第1回目となる学習研修会を3月12日、「2016春季生活闘争・クラシノソコアゲ応援団」をテーマに労働福祉会館502号室で開催し、10構成組織40人の青年・女性が参加した。



10構成組織・40人の青年が参加 連合徳島島事務局長が講演

アゲ応援団！奨学金制度の拡充に向けた連合の取り組みについて、低所得者層の教育費負担軽減をはかり、貧困の連鎖を防ぐとともに、すべての働く者の『底上げ・底支え』『格差是正』につなげていくため、仲間と共に頑張っていく」と講演した。質疑応答の後、各産別春闘の取り組みとして農協労連、J P労組、全水道からの報告があった。最後に小畑委員長のため、団結ガンパローで学習研修会を終了した。